

「DX戦略」「サステナビリティ」 「社外取締役座談会」

2022年4月11日
株式会社 **千葉銀行**
(東証プライム市場：8331)

目次

DX戦略

1. 全体像	
環境認識	3
DX戦略全体像	4
2. ムーンショット目標	
アプリ	5
法人ポータル	6
データ一元化・業務効率化	7
3. 個別事業	
地域商社	8
キャッシュレス	9
BaaS	10
パーソナライズ	11
リモート金融コンサルティングサービス・	
広告事業	12
ICTコンサル・自治体DX	13
4. DX人材	
DX人材	14
営業人員・アイデアピッチコンテスト	15

サステナビリティ

持続的経営の実現に向けて	17
これまでの取組み・外部評価	18
脱炭素社会の実現に向けて	19
ファイナンス・ソリューション	20
サステナブル・ファイナンス	21
E ～ CO2排出量 ～	22
E ～ 情報開示・融資取引方針 ～	23
S ～ ダイバーシティ・人権 ～	24
S ～ 地方創生 ～	25
S ～ 地域商社・自治体連携 ～	26
G ～ ガバナンス	27

社外取締役との座談会

社外取締役プロフィール	29
-------------	----

DX戦略

新型コロナウイルスの影響で、デジタル化が加速度的に進展

銀行取引

チャンネル別1日利用者数

アプリが顧客接点の主体へ

※ 集計対象：個人のみ
カウント数：先数

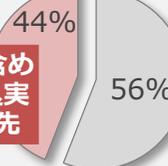


振込のアプリ利用

アプリ経由他行宛振込の実施先

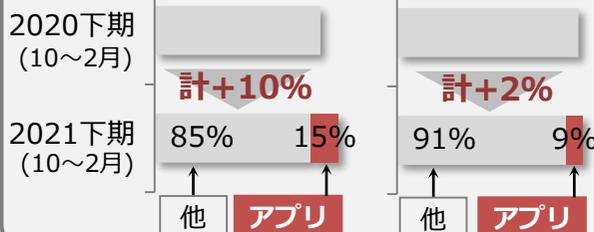
(2021年6月～2022年2月)

他チャンネルも含め1年以内に振込実績が無かった先



振込件数

振込手数料

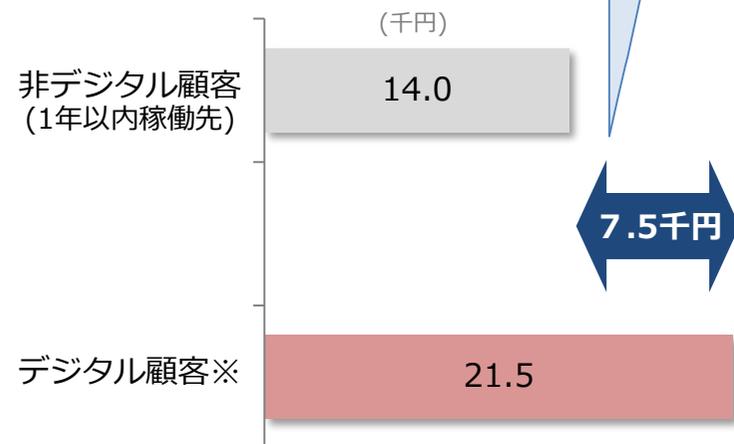


デジタル顧客の収益性

一人当たり収益

(2022/3期上期実績の年換算)

アプリ新規先獲得コスト 1.2千円/1件を上回る

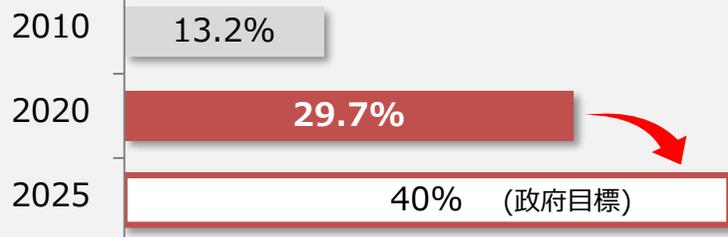


※アプリ登録者、インターネットバンキング契約者等

消費取引

キャッシュレス取引比率

千葉県のキャッシュレス市場は 2020年 ⇒ 2025年に約1.2兆円拡大※



千葉県キャッシュレス市場規模※

3.5兆円
4.7兆円

※千葉県の民間最終消費支出(2018年)15.6兆円のうち住宅や企業設備の3.8兆円を除いた11.8兆円がキャッシュレス対応可能な消費支出であるとして推計

DX認定事業者

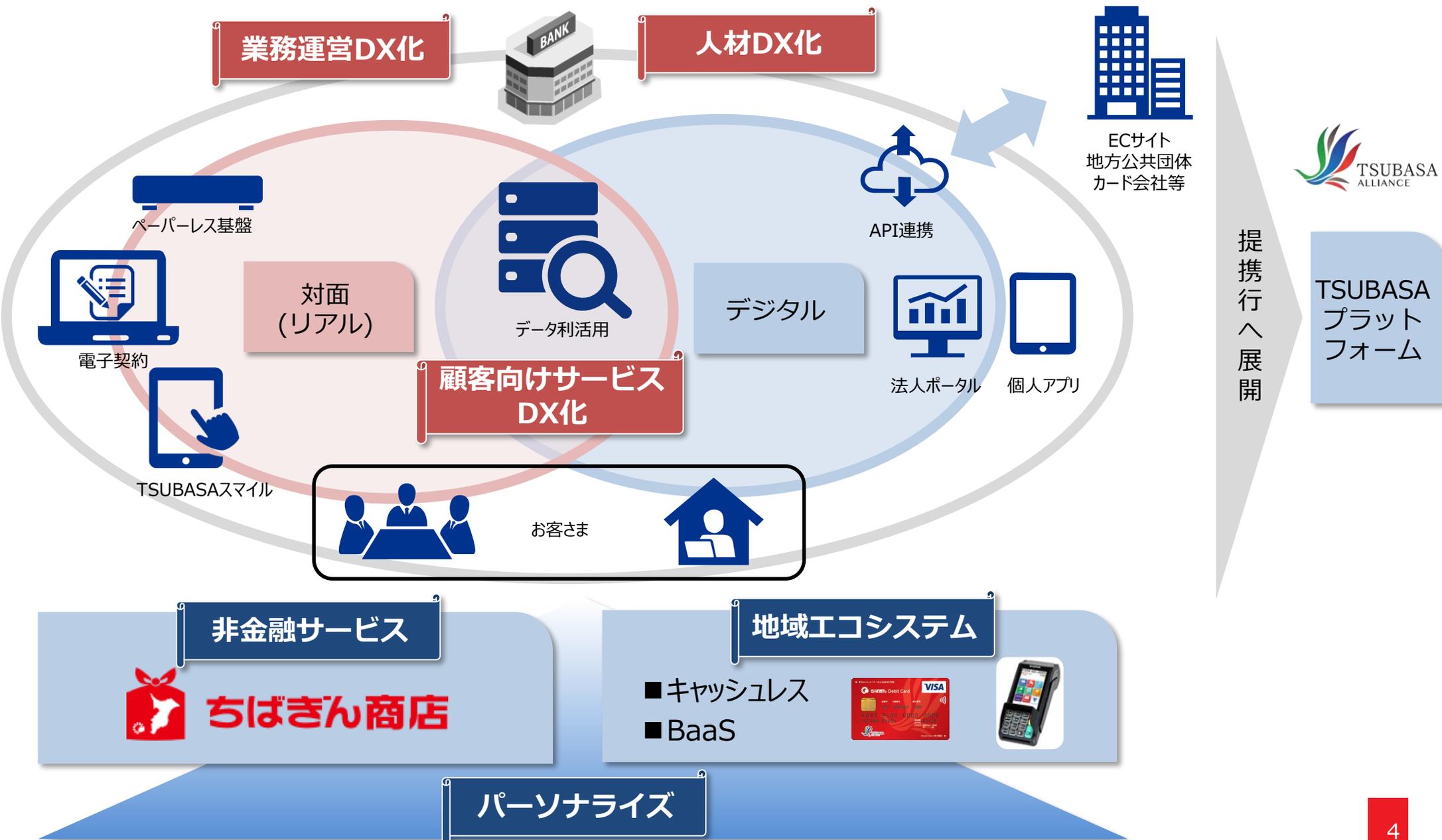


2022年3月 **New**
「DX認定事業者」の認定を取得

2022年3月 **New** DX投資促進税制の適用※ → 2023年3月期 0.5億円の節税効果

※邦銀で、武蔵野銀行に次いで2行目

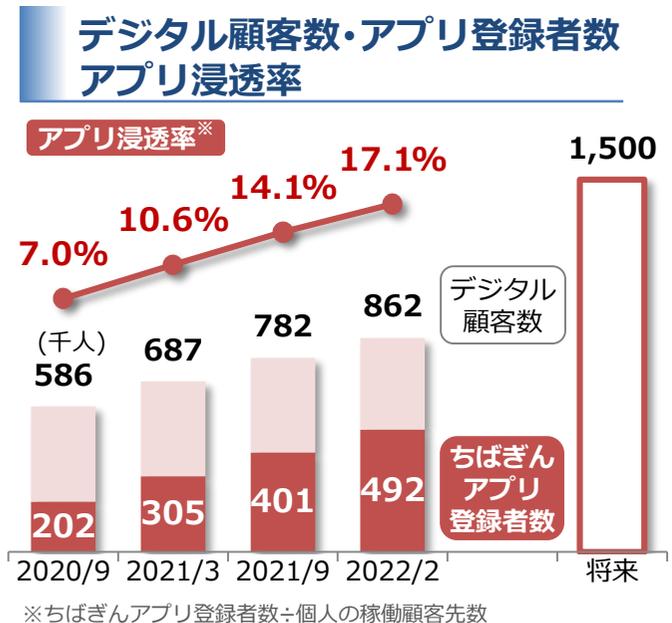
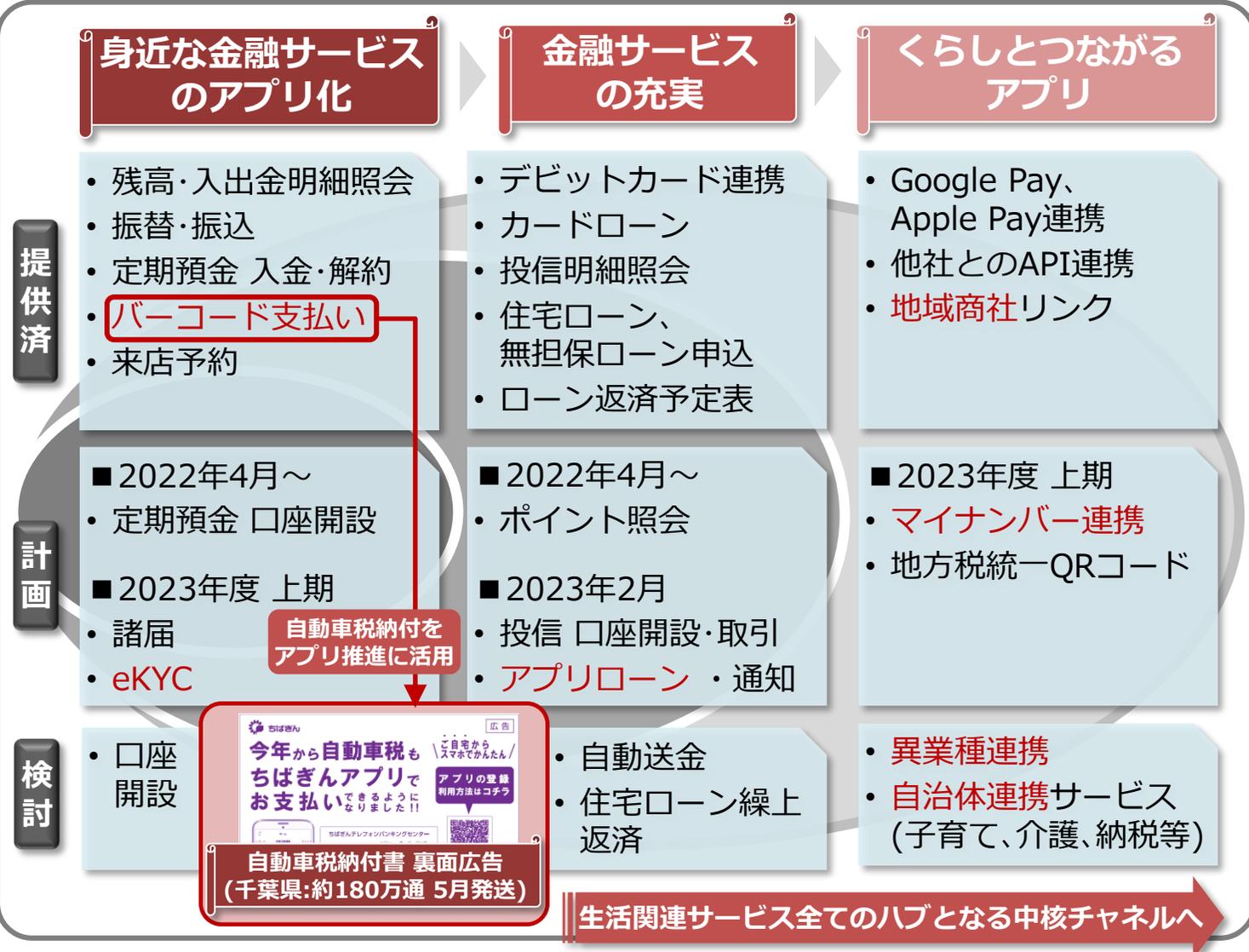
DXにより銀行そのものを変革



「くらしとつながるアプリ」に向け、アップグレードを継続



「最高のアプリ」を全てのお客さまに提供する
～お客さまのくらしとつながり、あらゆるタイミングで常に使われるアプリ～



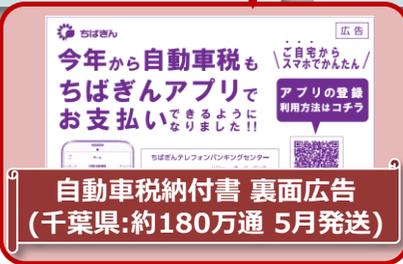
TSUBASA行への展開

4行が導入

- 武蔵野
- 中国
- 群馬
- 琉球 **New**

アプリ導入先から人材受入
⇒TSUBASA全体で開発

**開発コストを
約5割削減**



事業者と当行をつなぐあらゆるサービスのハブとなるデジタルチャネル



「最高の法人ポータル」を全てのお客さまに提供する
～ あらゆるサービスのハブとなり、事業活動に欠かせない法人ポータル～

デジタルでつながる

- チャット
- 経営者向け情報配信
- 2022年2月 **New**
- Web会議
- 2022年5月～
- アンケート機能

金融サービスのデジタル化

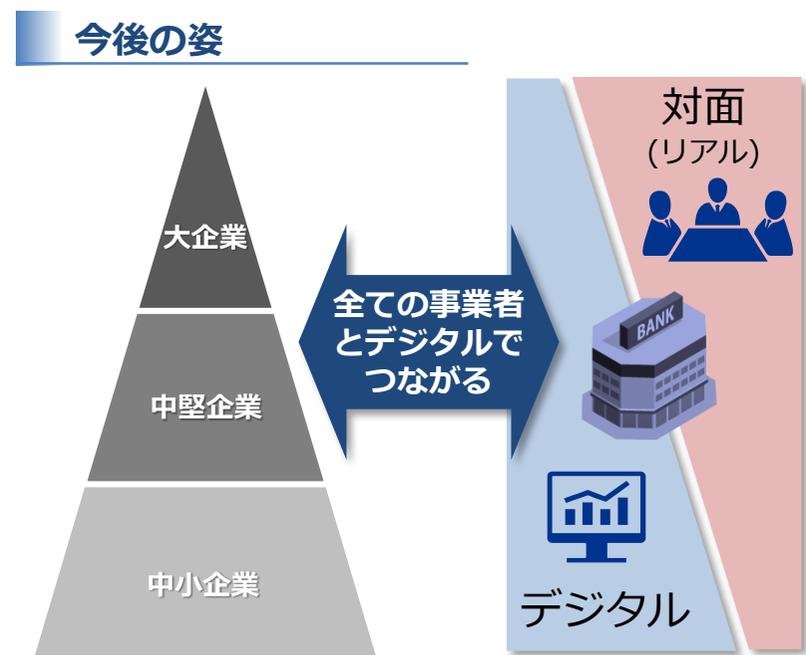
- 口座残高、明細
- 入出金推移(グラフ化)
- 2022年2月 **New**
- 口座情報比較機能
- 2022年5月～
- 他行口座一覧表示
- 返済予定表のデジタル交付
- 借入一覧照会
- キャッシュフロー可視化
- 借入申込受付
- 電子契約との連携

経営課題の解決

- BigAdvance
- 経営診断、財務分析
- 当行グループWebサイトとの連携
- 業務システムの提供

金融機関名	残高	割合
千歳銀行	36,000,000円	36.1%
三菱UFJ銀行	20,000,000円	20.0%
三井住友銀行	5,000,000円	5.0%
みずほ銀行	3,000,000円	3.0%
りそな銀行	5,600,000円	5.6%
京葉銀行	8,000,000円	8.0%
河北銀行	2,200,000円	2.3%

貸付名	残高	口数	備考
本店営業用貸付	12,549,987	36,300,000円	CF (株) A社への出金用
本店仕入用貸付(出金)	12,549,987	8,000,000円	CF (株) B社への入金用
当行法人向け「アジア」借付	12,549,987	2,000,000円	CF A社への入金
当行法人向け「アジア」借付	12,549,987	1,800,000円	CF A社への入金



ムーンショット目標は実現へ ⇒ 次のステップへ

データー一元化



「いつでも」「欲しいものが」「欲しい形で」得られる
データ検索システムの実現

2021/7 **ムーンショット目標 実現済**

支店へのリスト還元

<2021/7～2022/3実績>
 ■ リスト配信件数：254件 ■ 同先数：22.7万先
 ■ **接触率：22%***

※検証できるもののみを計上

今後の姿

New

経験に基づいたリスト → AI分析結果に基づいたリスト

マーケティング戦略の高度化
(パーソナライズ化による顧客アプローチ最適化、自動化実現)

業務効率化



銀行内部で発生する「紙と印鑑の使用」を0にする。



今後の姿

超軽量店舗 案内係とリモートブースのみ

TSUBASA事務共同化

千葉銀行、中国銀行、TSUBASA ALLIANCE

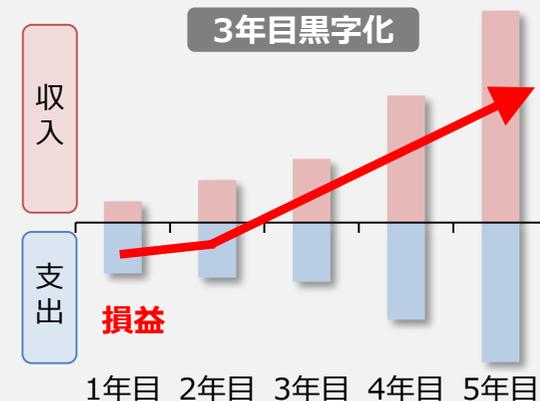
バックオフィス共同運営



「非金融サービス」をハブとして、地域エコシステムを構築



Step1の収益イメージ



Step 1. 「地域産品」

千葉発の「地方創生の起爆剤となる商品・サービス」を創出し、千葉を代表する商品・サービスを生み出していく。

クラウドファンディング

新商品・サービスの発掘・創出

ECサイト

継続販売



個別ブランド

個別商品をブランド化



クラウドファンディングサイト「C-VALUE」(2021/10～)



- 公開プロジェクト数 累計51 (公開終了のうち75%が目標金額達成)
- 会員数：4,000人超



Step 2. 「ライフイベント」

①住宅

2022年度上期～
トライアル開始予定

New



お客さま

データ活用・パーソナライズで潜在ニーズ発掘

送客

①

これまで：④のみ

これから：①から

④ 送客 (住宅ローン)

不動産業者

③ 送客



送客

②

提携不動産会社
住宅購入に関する
コンシェルジュサービス

ライフイベントに関する商流の川上に立ち、金融・非金融サービスをワンストップで提供

②自動車



ちばぎんリース株式会社



ちばぎん商店

Step 3. 「暮らし」

新たな日常における消費活動を支援し、「暮らしとつながる」を実現

【主要領域】

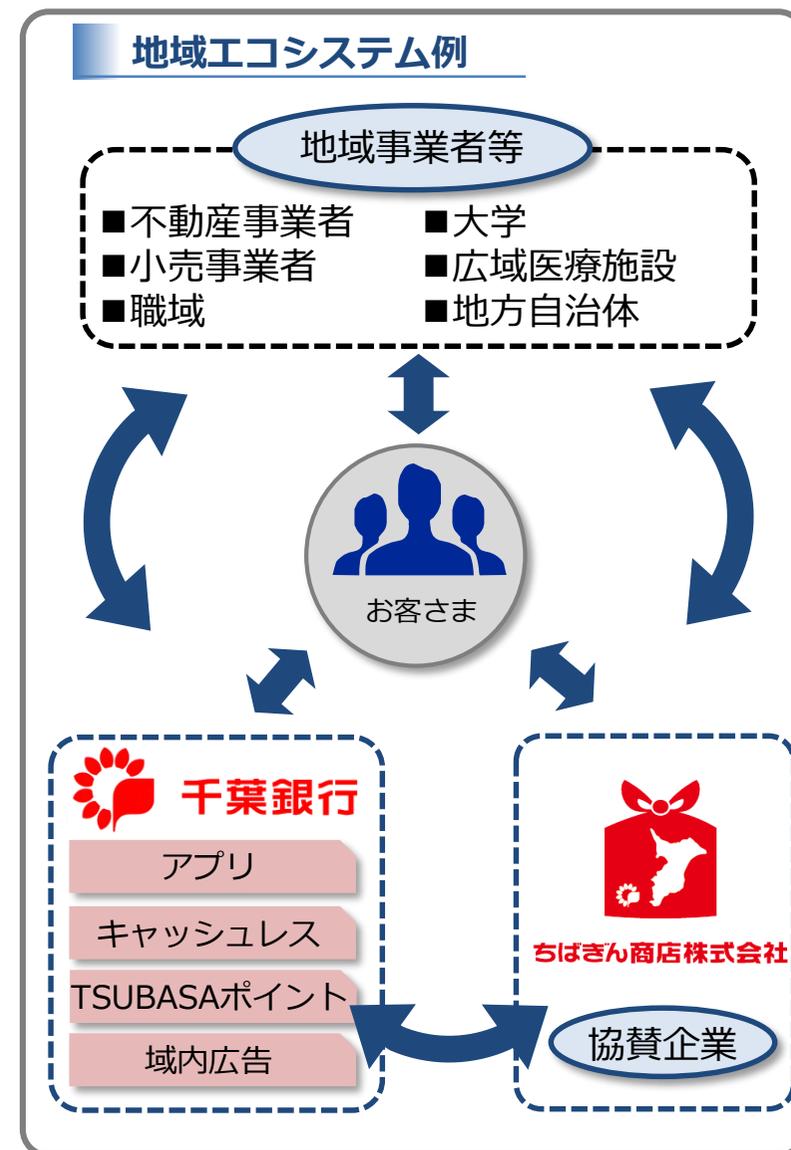


健康/介護

教育

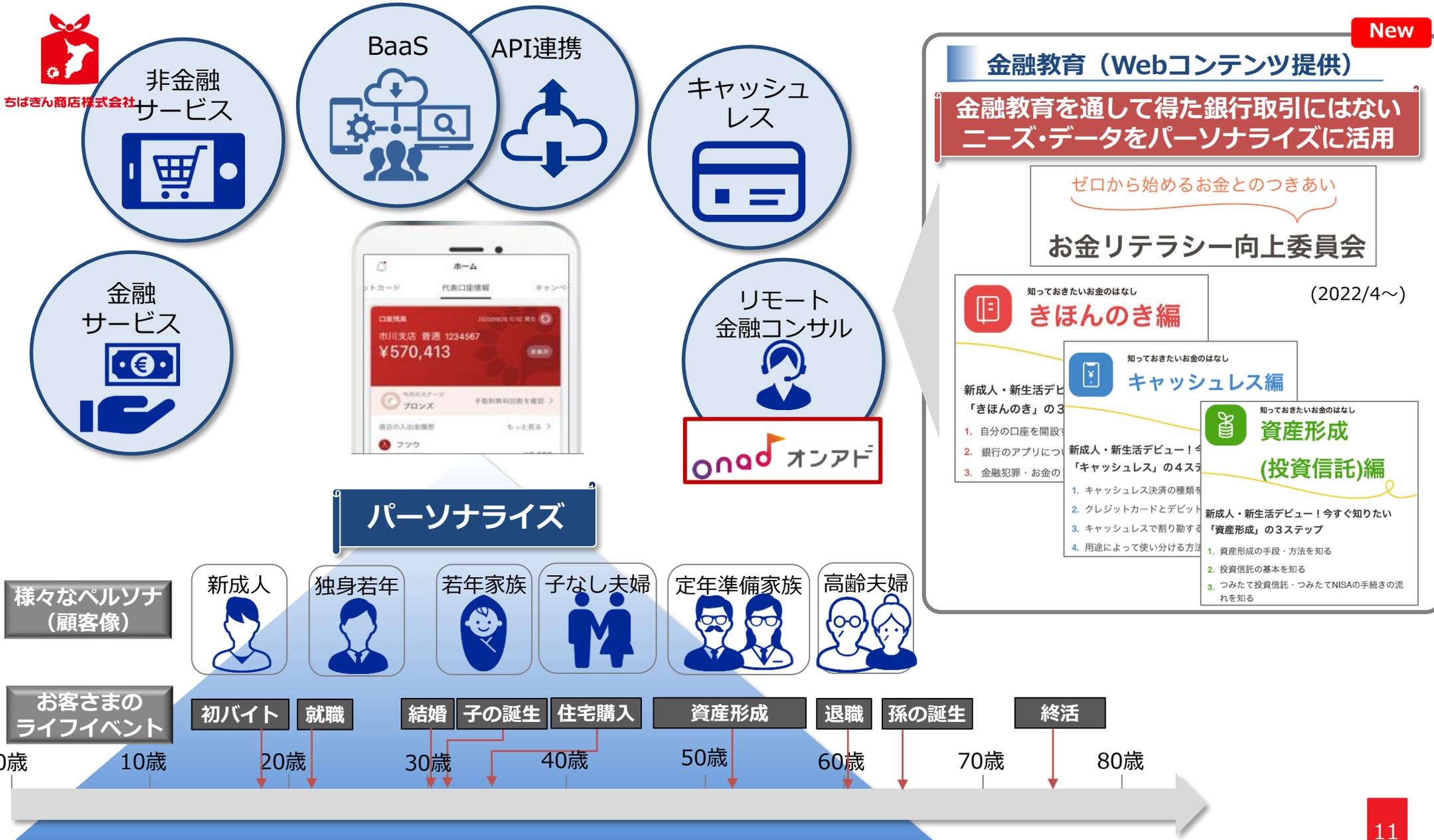
食品小売

当行プラットフォームを「BaaS」として提供し、地域エコシステムを構築



パーソナライズ

データ分析から潜在ニーズを掘り起こし、ペルソナ・ライフイベントに合わせた的確な提案



新規事業を積極的に展開

リモート金融コンサルティングサービス

(2022年4月～)
営業開始 **New**

NOMURA

千葉銀行 中国銀行
第四北越銀行

出資

onad
オンアド



あなただけのオンリー・アドバイス
お金の「わからない」を「わかる」に。
オンアドが解決します!

スマホ/PCでどこでもつながる
具体的な相談が決まらなくても大丈夫

アドバイザーを自由に決められる
自分だけのプランが見つかる

アドバイス特化
しつこい営業一切なし

オンアドで相談できる!
5つのカテゴリー
詳しく知りたいカテゴリーを選択!

- ライフプラン
- 資産形成・運用
- 保険
- 相続・贈与
- ローン

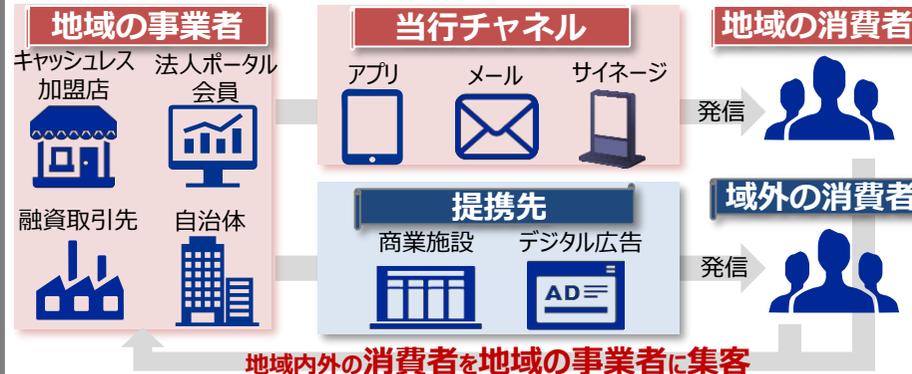
将来の夢や目標を叶えるために
シミュレーションで何をすべきか
見える化 × 明確化

あなたのお金についての課題を見出し、投資助言者として有価証券の活用も視野に入れたプランシミュレーションを行います。課題の抽出だけでなく、今後取るべき対策までアドバイスを行います。

広告事業

千葉県の広告市場規模※：約600億円

※経済産業省「経済構造実態調査」や中小事業者数を基に千葉銀行で算出（広告主側のみ）



位置情報を活用した地域活性化マーケティング事業

千葉駅周辺の当行拠点・商業施設

New (2022年2月～) **ビーコン** **New** (2022年5月～) (予定)

千葉銀行公式LINE
ちばぎんアプリ

100m圏内のお客さま

キャンペーン情報
商業施設クーポン

今後(案)

プッシュ配信の本格展開
人流データに基づくマーケティング支援
地元事業者へのプラットフォーム展開

ICTコンサルティング・自治体DX

千葉県全体のDXをサポート

ICTコンサルティング

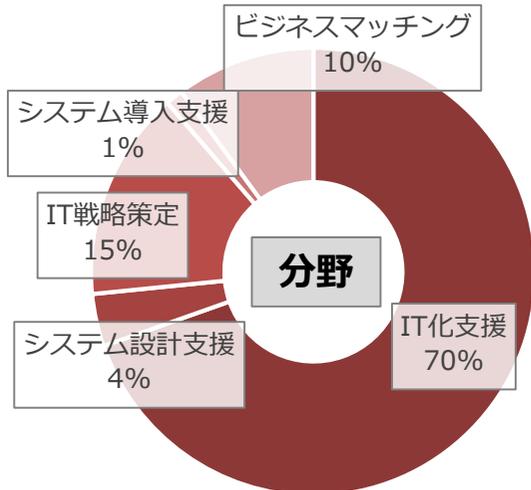
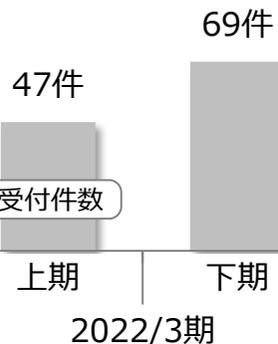
(2021/4～)

企業のICT化をサポート

■ 経営計画策定

- ITツール導入
 - 初期設定
 - 業務フロー改善
 - 業務フロー整備
 - 課題認識・検討
- アドバイザー
CRi ちばきん総合研究所
人材紹介
ちばきんキャリアサービス
導入支援
ちばきんコンピュータサービス株式会社

受付件数・分野



取組事例



お客さま

- 業務フロー洗出し
- 業務上の課題整理
- システム要件定義作成
- 販売管理システム導入支援

CRi ちばきん総合研究所



千葉銀行

ちばきんコンピュータサービス株式会社

自治体DX

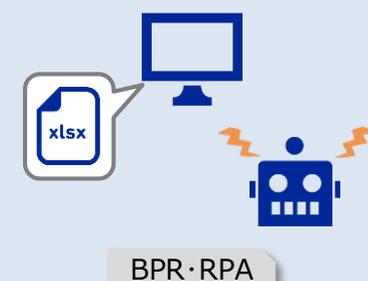
自治体のDXを側面支援

自治体向けDX支援

4レス

- ペーパーレス
- キャッシュレス
- 印鑑レス
- 電話レス
- オンライン申請
- QR・バーコード決済
- 口座振替登録
- AIチャットボット

効率化



DX人材育成支援

New

2022年2～3月、千葉県・千葉市を含めた県内10自治体の職員約50名に「DX人材育成プログラム」のトライアルを実施

- マインドセット
- 基本知識スキル
- 応用実践

今後

■ 県内の他自治体へ展開
⇒ TSUBASA行へも展開

■ 自治体行政DXセミナー
⇒ 提携行へ展開

千葉県とのDX人材交流



千葉銀行

人材交流



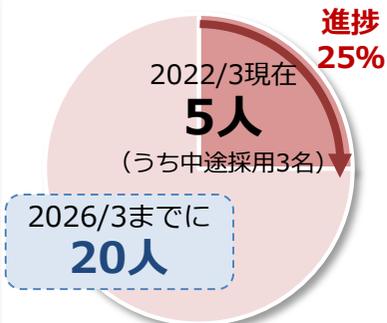
千葉県
chiba prefecture
(4月新設)
デジタル改革推進局

DX人材

DX人材を「3つのレベル」に分けて、それぞれに認定要件を設定

DX認定制度

DX専門人材



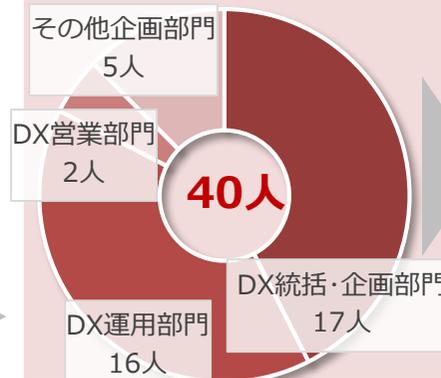
テクノロジー(AI・高度なデータ分析等)やデザインに関する**高い専門性を有する人材**

外部人材 (中途)



DXコア人材 内訳

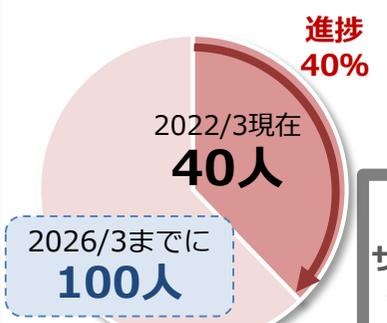
2022/3時点



2026/3イメージ



DXコア人材



テクノロジーやデザインに関する一定の知識を有し、**DXを中心に推進できる人材**

DXトレーニー



トレーニー期間：半年～1年

2021/4	第1期生	10名派遣
2021/10	第2期生	10名派遣
2022/4	第3期生	10名派遣

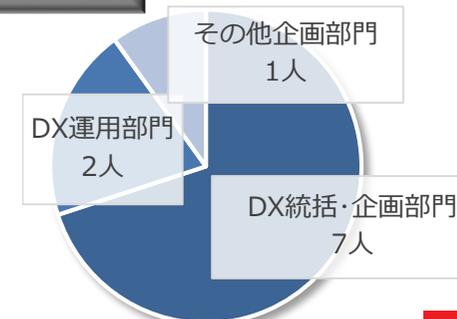
外部サービスを活用
OJT 一部ハンズオン
DX 初任者研修 (コース別)

外部派遣

- 累計**30人**
- Webデザイン
 - データサイエンス
 - アプリ分析
 - アプリ企画開発
 - クラウド環境構築

配属先

[第1期生10名内訳]



DXベース人材



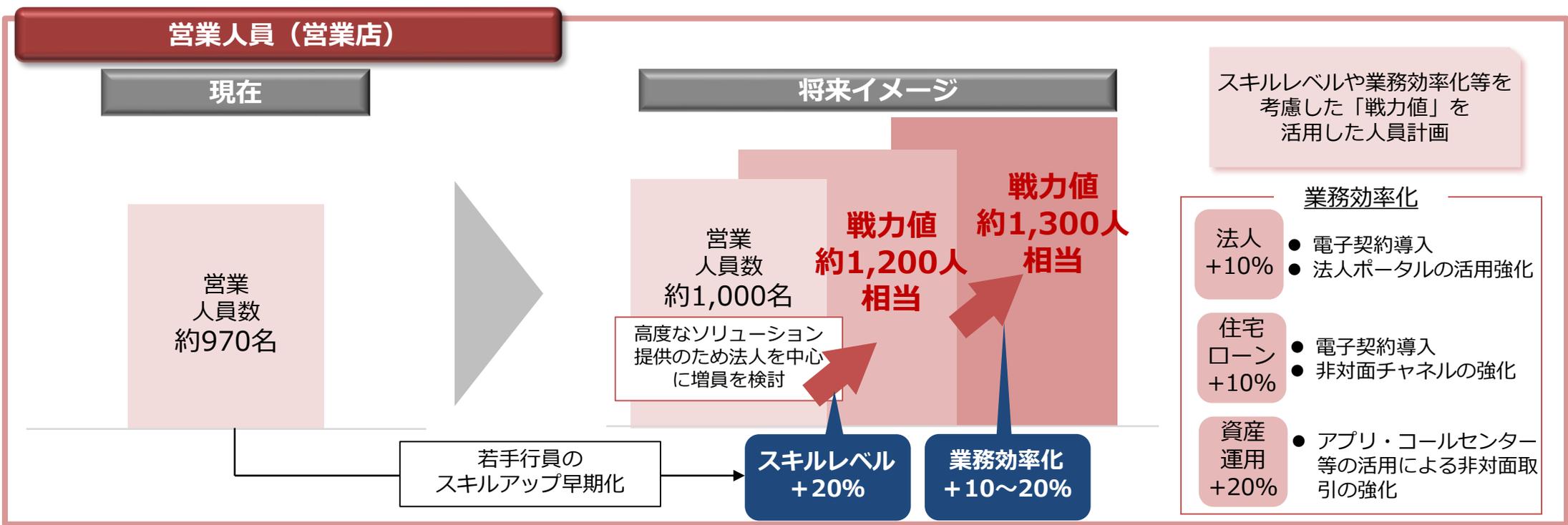
DXの素養・適正のチェック

DXに関する**一定のリテラシーを有する人材**
(ITパスポート取得)

※職員数：4,070名 (2022/3時点)

営業人員・アイデアピッチコンテスト

戦力値を活用した人員の最適なポートフォリオ構築を目指す



アイデアピッチコンテスト

New

全職員、内定者を対象にデジタルを活用したビジネスアイデアの募集

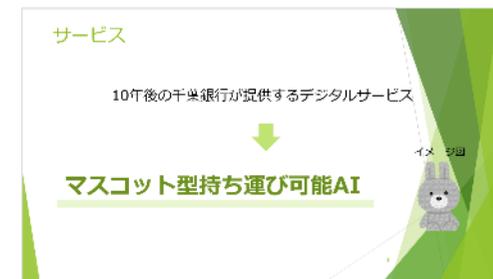
新ビジネスの創出



DXを自分事として捉える機運醸成

全職員 (77名41件)

内定者 (132名24件)



サステナビリティ

長期志向で社会価値と経済価値の両立を目指す

持続的経営 = 「長期志向」 + 「社会価値（社会課題の解決） + 経済価値」

ESG課題への取組



ちばぎんグループSDGs宣言



これまでの取組み・外部評価

サステナビリティへの着実な取組み

	～2018	2019	2020	2021	2022
態勢等	<ul style="list-style-type: none"> 2017年 ESG推進委員会設置 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs宣言制定 サステナビリティ方針制定 統合報告書発刊 		<ul style="list-style-type: none"> SDGs推進室設置 	
環境		<ul style="list-style-type: none"> TCFD提言への賛同表明 融資ポリシー改定 	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針制定 気候変動情報の開示 CO2排出量目標開示 	<ul style="list-style-type: none"> サステナブル・ファイナンス目標設定 	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量目標再設定 (2030年カーボンニュートラル) GXリーグ基本構想賛同
社会	<ul style="list-style-type: none"> 2015年 地銀人材バンク 2016年 寄付型私募債の取扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ESGインデックス投信の組成・販売 	<ul style="list-style-type: none"> 人権方針制定 フードバンク等との連携協定 	<ul style="list-style-type: none"> TFTの導入 企業行動指針の導入 (企業理念の改定) 	<ul style="list-style-type: none"> TSUBASA ダイバーシティ & インクルージョン宣言制定
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 2015年 経営諮問委員会設置 2018年 CxO制導入 社外取比率1/3以上に引上 	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスに関する方針策定 		<ul style="list-style-type: none"> 譲渡制限付き株式報酬制度導入 	

外部評価

CDP気候変動スコア

邦銀として最高水準の「A-」を取得



◆ 世界平均：「B-」

	地方銀行	大手行等
A-	千葉	みずほFG
B	ふくおかFG 八十二	MUFG SMFG りそなHD
B-	1社	1社
C	1社	2社
F	多数 (未回答企業)	

MSCI ESG Rating

メガ3行と同水準の「A」を取得

2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2021



Sompo Sustainability Index



MSCI指数への株式会社千葉銀行の組み入れ、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたは関連会社による株式会社千葉銀行への後援、推奨、宣伝ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

脱炭素社会の実現に向けて

千葉県全体のカーボンニュートラル実現に向け、当行・地域のお客さまに向けた取組みを推進

脱炭素への取組み

気候変動リスクの把握と適切な開示

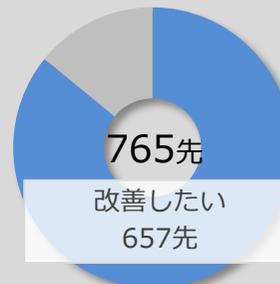
当行の取組み

アドバイザー
特定先の

約9割

自社のサステナビリティの取組みを改善したいと回答

(2021年12月実施アンケート)



ちばSDGsパートナー登録企業
945先

ESGの各取組について具体的な目標の設定が登録要件

約5割が当行融資先

千葉県全体のカーボンニュートラル

地域のお客さまに向けた取組み

気候変動対応ニーズ

サステナブル・ファイナンス

脱炭素に向けたコンサルティング

ビジネス機会

リスク抑制

CO2排出量の把握・削減

事業性評価へのESG要素の取り込み

zeroboard
CO2排出量可視化ツール
(予定)

WasteBox
CO2排出量可視化コンサル
(予定)

CO2排出量データ

脱炭素コンサル業務提携

必要に応じて連携・情報共有

ちばSDGs推進ネットワーク

アドバイザー特定先を中心に取組み

お客さま

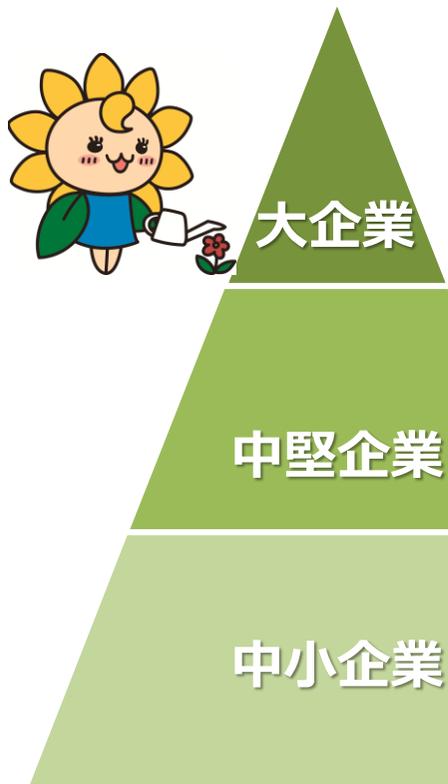
CO2排出量データ

CO2排出量計測支援

ファイナンス・ソリューション

お客さまに合わせたファイナンス・ソリューションを提供

法人のお客さま向けファイナンス



- ▶ サステナビリティ・リンク・ローン
- ▶ グリーンローン
- ▶ ポジティブ・インパクト・ファイナンス

- 国際原則に準拠したファイナンス
- 外部機関 (R&I等) が評価

- ▶ SDGsリーダーズローン
 - └ サステナビリティ・リンク・ローン型
 - └ グリーンローン型

- 国際原則に整合したファイナンス
- ちばぎん総研が評価 (R&Iがフレームワークを評価)

- ▶ SDGsフレンズローン

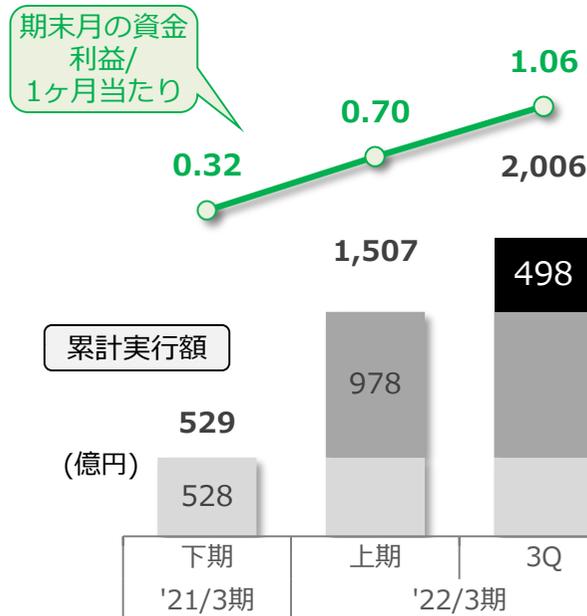
- お客さまの事業活動とSDGsの目標を紐づけ
- お客さまのSDGs達成に向けた取組みを支援



▶ SDGs対応簡易診断サービス

※法人ポータルにおいて提供 (2022年1月～)
 お客さまのSDGs対応度をグラフで示した簡易レポートを作成

SDGsフレンズローン 累計実行額・資金利益



個人のお客さま向けファイナンス

- 環境に配慮した用途の融資に対して割引金利を適用

目的別ローン

- ▶ マイカーローン
- ▶ リフォームローン

住宅ローン

- ▶ サステナブル住宅ローン

地球環境への取組み
 千葉銀行は脱炭素社会の実現に向け、環境に配慮した「暮らし」をサポートします。

マイカーローン

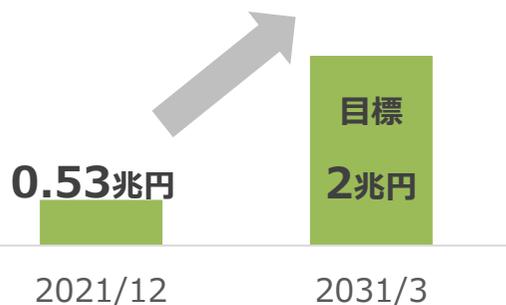
環境配慮車(ハイブリッド・電気自動車等)を購入される場合、金利を引き下げします!!

サステナブル・ファイナンス

サステナブル・ファイナンスを積極的に推進

サステナブル・ファイナンス

累計実行額目標
(2019年4月～2031年3月) **2兆円**



定義
環境課題や社会課題の解決を資金使途とするファイナンス (お客様のESGやSDGs達成への取組みを支援するファイナンスを含む)

- ・ 国際原則準拠型投融資
- ・ 国際原則準拠型に準ずるような融資
- ・ お客様のESG/SDGs対応を支援する融資
- ・ 社会インフラ向けプロジェクト・ファイナンス・投資 (PFIを含む)
- ・ 寄付型私募債の引受

うち、環境系ファイナンス

累計実行額目標
(2019年4月～2031年3月) **1兆円**



- ・ 国際原則準拠型投融資
- ・ トランジションファイナンス
- ・ 再生可能エネルギー関連融資
- ・ 建物のエネルギー効率改善を目的とした設備資金 (グリーン・ビルディング、ZEB、ZEH)
- ・ 環境対応車の購入を目的とするマイカーローン

再生可能エネルギー融資

■ 再生可能エネルギーの活用に取り組むお客さまを資金面でサポート

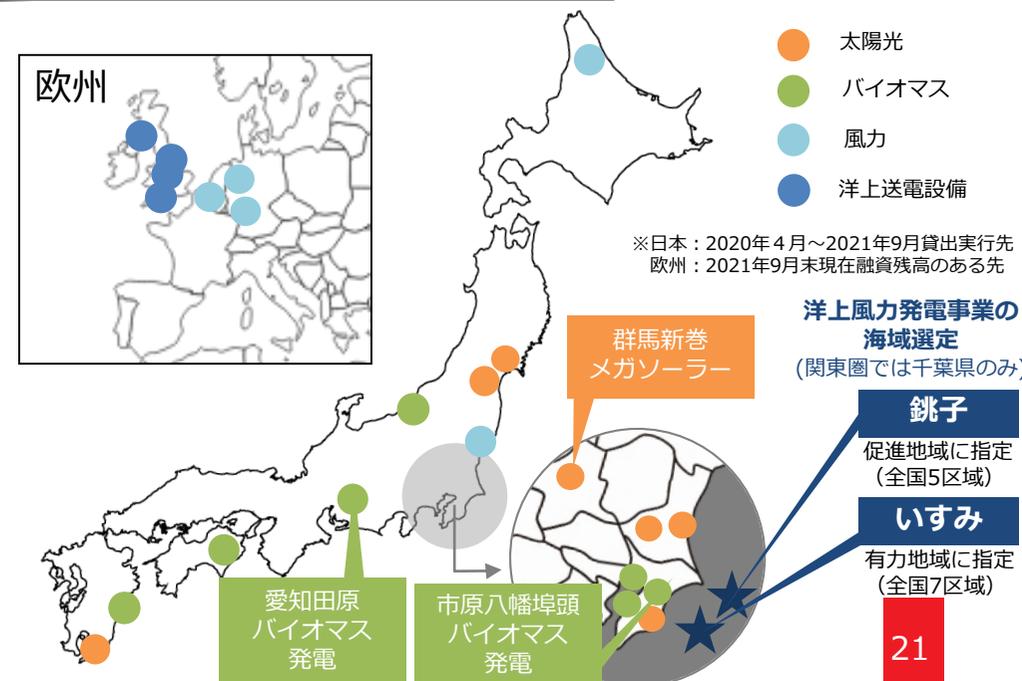
2021/12末	融資残高
太陽光発電	1,330億円
バイオマス発電	153億円
風力発電	127億円
水力発電	7億円
合計	1,617億円

※ 当行融資による再生可能エネルギー発電量 (累計)

- ・ 年間発電量 : 約670万MWh
- ・ 世帯数換算 : 約190万世帯
- ・ CO2削減効果 : 約290万トン

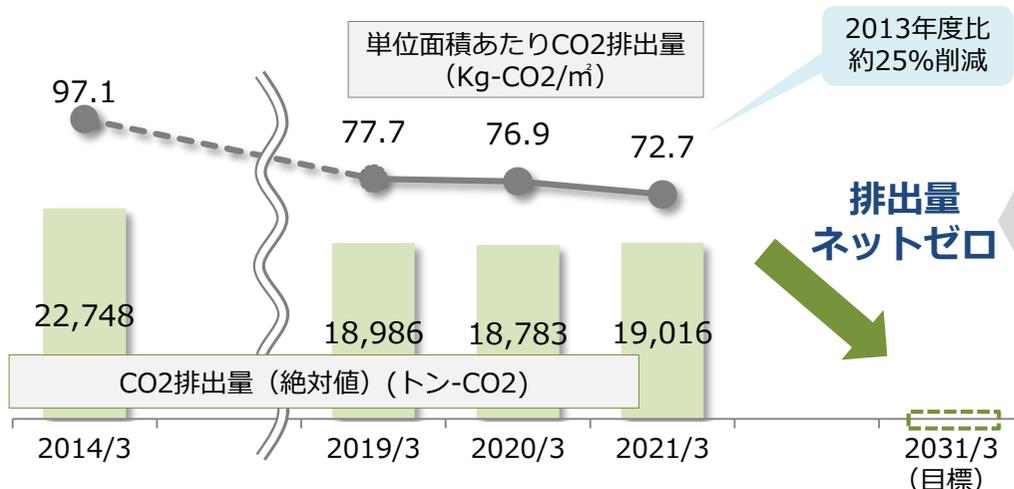
※建設中のプロジェクトを含む

うち、プロジェクトファイナンス案件※



CO2排出量目標を設定し、脱炭素に向けた取組を強化

CO2排出量推移



(トン-CO2)	2019/3	2020/3	2021/3
SCOPE1	2,591	2,493	2,425
SCOPE2	16,395	16,290	16,591
SCOPE 1・2 合計	18,986	18,783	19,016

	2019/3	2020/3	2021/3
SCOPE3 (うち出張)	540	540	540
(うち通勤)	1,640	1,660	1,590

SCOPE 3のうち、
上場企業等への融資に基づく排出量を部分開示予定

2022年3月

GXリーグ基本構想への賛同表明

New

CO2排出量目標

New

2031年3月までにCO2排出量ネットゼロ
(カーボンニュートラル※を達成)



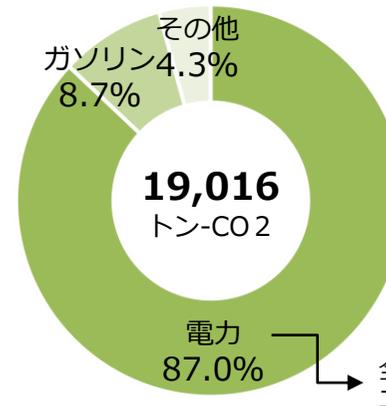
※自社の排出にかかるSCOPE1 + SCOPE2を対象

目標達成に向けて

■省エネ施策の実施

- ・照明・空調設備の更新による電力消費量の減少
- ・営業車の環境対応車への切り替え
- ・太陽光パネルの設置 等

■再生可能エネルギーの導入やクレジット取引の活用

CO2排出量内訳
(2020年度)

カーボンニュートラル達成に向けた
想定年間コスト

電力における再エネ由来 エネルギー導入コスト	約21百万円
その他	約6百万円
合計	約28百万円

全ての電力に再生可能
エネルギーを導入予定

気候変動に関する開示を拡充

情報開示

TCFD提言への取組み

- 気候変動に関する情報を積極的に開示（2019年12月TCFD提言賛同表明）

物理的
リスク2050年
まで

大規模風水災等

海面上昇

千葉県内における台風・豪雨等風水災による不動産担保の損壊等
与信関係費用に影響する担保価値影響額 ※1

30～40億円

不動産担保の毀損および企業の事業停滞に
基づく与信関係費用増加額を算出予定移行
リスク2050年
まで

脱炭素社会への移行

与信関係費用の増加額 ※2

最大で140億円

当行貸出金等に占める炭素関連資産の割合**1.1%** ※3石油・ガス
石炭電力
ユーティリティ

鉄鋼セクター追加予定

融資取組方針

石炭火力発電融資に係る目標

2037年3月までに
石炭火力発電融資残高ゼロ

融資ポリシー

- 2019年5月、環境・社会に対して大きな影響を与えると考えられる特定のセクターに関する融資ポリシーを公表

セクター	方針
新設の石炭火力発電所 向け与信	原則、取り組まない
クラスター弾製造企業 向け与信	用途を問わず禁止
パーム油農園開発 向け与信	十分注意の上、与信判断 ・RSPO等の認証の取得状況 ・環境に対する配慮状況 ・地域社会とのトラブルの発生状況 等
森林伐採事業 向け与信	十分注意の上、与信判断 ・FSC、PEFC等の取得状況 ・環境に対する配慮状況 ・地域社会とのトラブルの発生状況 等

※1 2019年秋の「房総半島台風」「東日本台風」およびそれに続く大雨に伴う千葉県内における建物被災データ、IPCCのRCP2.6シナリオ（2℃シナリオ）およびRCP8.5シナリオ（4℃シナリオ）を前提に算出。千葉県内の不動産担保（住宅ローンを除く一般貸出のみ）が分析対象。

※2 IEAのSDSシナリオを前提に算出。

※3 TCFD提言が推奨する定義を踏まえたエネルギーおよびユーティリティセクター向け2021年3月末の貸出金、支払承諾、外国為替、私募債等の合計。ただし、水道事業、再生可能エネルギー発電事業を除く。

多様な人材の活用

ダイバーシティ推進・数値目標

	2021年 3月期	2022年 3月期	2026年 7月目標
女性リーダー職以上比率 (人数) ※	24.4% (453名) 2021/4/1現在	25.4% (465名) 2022/4/1現在	30%
有給取得率	70%	—	80%
男性育児休業取得率	112.7%	—	100% 継続

※支店長代理など、部下をもつ職務にある職員及びそれと同等の地位にある職員であり、担当業務の責任者として、組織マネジメントの職責を担う者。

外部評価



経済産業省・
東京証券取引所
「なでしこ銘柄」選定

5年連続



プラチナ
えるぼし取得

銀行初



TSUBASAダイバーシティ&インクルージョン宣言

地域の持続的な成長を実現するため、ダイバーシティ&インクルージョンを競争力の源泉と位置づけ積極的に取り組むことを宣言(2022年4月制定)

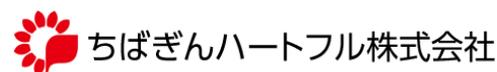


New

障がい者活躍推進

障がい者雇用者数 **156人**

※2021年度のグループ障がい者雇用率算定用の数値



■ 障がい者雇用の促進を図るため、2006年に設立。

「もにす認定」取得
(厚生労働省)



東日本、関東圏の銀行系特例
子会社で初めての認定

人権問題への取組み

2020年11月
人権方針
制定

- 人権尊重の明文化
- サプライヤーへの協力要請を織込む

2021年4月
企業行動指針
改定

- 企業理念を改定し、人権尊重を明文化

2021年9月
英国現代奴隷法
表明書公表

- ロンドン支店としての対応から、全行的対応へ変更

コロナ禍におけるお客さまへの支援や、地域社会への貢献

新型コロナウイルス感染症への対応

「ちばぎん研修センター」を新型コロナウイルス感染症の臨時医療施設・宿泊療養施設として提供

- 屋内：短期入院用ベット110床
- 屋外：プレハブ型宿泊療養施設50床



寄付・寄贈



2021年11月
千葉大学医学部附属病院
エクモカー寄贈
(購入資金1,000万円を寄付)



2020年5月
千葉大学医学部附属病院
フェイスシールド
8,000セットを寄贈

地域社会への貢献

SDGs私募債

みらいはぐくみ型

スポーツ応援型

医療応援型

環境配慮型

プロジェクト支援型

累計金額・件数
(~2021年12月)

発行件数	793件
発行額	794億円
寄付額	132百万円

New

千葉環境再生基金または
環境保全活動を行う団体等への寄付
C-Value内の専用プロジェクトへの
クラウドファンディング

2022年4月
新規
追加

令和3年度 地方創生に資する

金融機関等の「特徴的な取組事例」 5年連続

課題解決

有害鳥獣による
農業被害の解決

新事業創出

有害鳥獣駆除代行
ジビエ食肉流通

持続可能な農業、
地域資源の地産地消の実現



ちばぎん
スキーム構築支援

ちばぎん商店
販路拡大支援

ちばぎん商店による地域活性化や自治体との連携

ちばぎん商店の取組み

成田発遊覧飛行 (JAL・ANAコラボ)

New

史上初プロジェクト！JALスペシャル周遊フライト
& ANA機内特別カンファレンス開催 (2022年2月)



- クラウドファンディング
目標達成率**295%**
- イベント企画にも携わる

コロナ禍で落ち込む
成田空港周辺を盛り上げる

自治体連携

ちばSDGs 推進ネットワーク

「ちばSDGsパートナー登録制度」
登録企業数
945社
(2022年1月~2月)

他都道府県の認証制度登録数
No.1 長野県 1,329社
No.2 熊本県 1,012社
**千葉県は募集開始2カ月にして
全国トップレベルの登録数**
2022年3月25日時点の公表情報に基づく集計

小湊鉄道沿線エリア特集 (2022年4月下旬スタート予定)

New

小湊鉄道 with C-VALUE

~クラウドファンディングを活用した小湊鉄道沿線の地域活性化プロジェクト~



- クラウドファンディング
- 各種支援
 - 商品開発・企画立上げ支援
 - プロモーション支援
 - 販路開拓支援
 - 戦略策定支援 等

観光・新事業による
地域活性化を狙う



ちばSDGsパートナー
登録制度の制定

千葉県内
お客さま

- SDGs普及や啓発、伴走支援
- ネットワーク会員同士の情報共有・連携



他の自治体への地方創生SDGs推進に向けたサポート

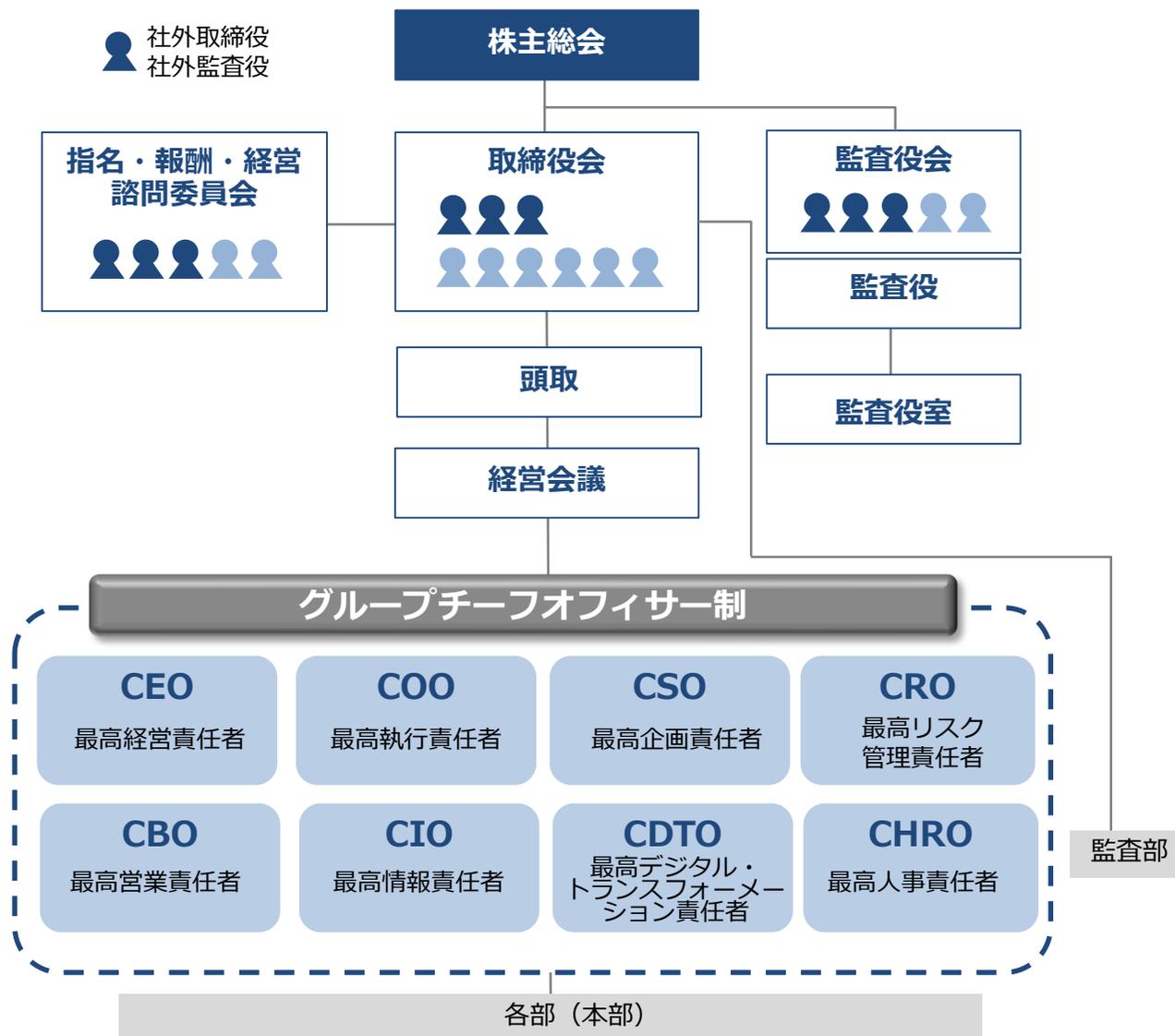
山武市

- ・ 2021年10月 協定締結
- ・ 2022年2月 SDGsセミナー開催
- ・ 2022年3月 SDGs宣言制度リリース

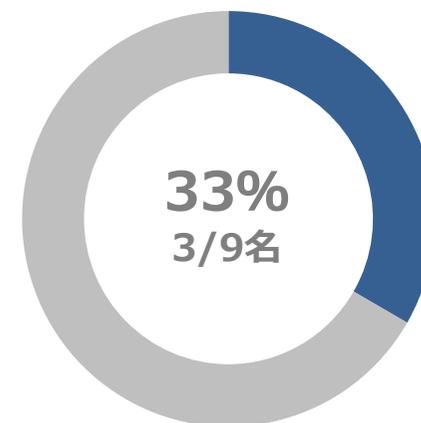
松戸市

- ・ 2021年10月 協定締結
- ・ 2022年2月 SDGsフォーラム開催

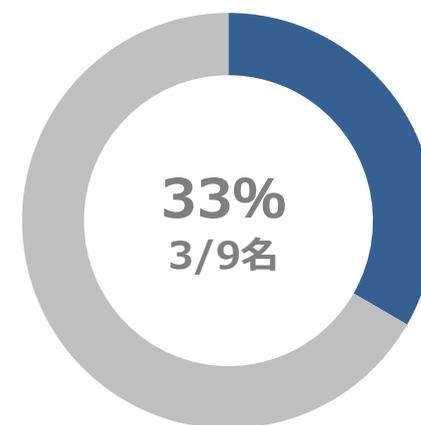
グループガバナンスの高度化



独立社外取締役比率



女性取締役比率



社外取締役との座談会

社外取締役プロフィール



田島 優子

- 1979年4月 東京地方検察庁検事
- 1992年4月 東京弁護士会 弁護士登録
さわやか法律事務所 弁護士
- 2006年7月 明治安田生命保険相互会社
社外取締役
- 2015年6月 当行 社外取締役
- 2015年10月 株式会社九州フィナンシャル
グループ 社外監査役
⇒2021年6月より
社外取締役 (監査等委員)
- 2016年10月 東京海上日動あんしん生命
保険株式会社 社外監査役

※赤字：現職

冒頭挨拶のテーマ

DE & I ※

※ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン



高山 靖子

- 1980年4月 株式会社資生堂 入社
- 2006年4月 同 お客さまセンター所長
- 2008年10月 同 コンシューマーリレーション部長
- 2009年4月 同 お客さま・社会リレーション部長
- 2010年4月 同 CSR部長
- 2011年6月 同 常勤監査役
- 2015年6月 同 顧問
- 2015年6月 当行 社外取締役
- 2015年6月 日本曹達株式会社 社外取締役
- 2016年6月 三菱商事株式会社 社外監査役
- 2017年6月 横河電機株式会社 社外監査役
- 2019年6月 コスモエネルギー
ホールディングス株式会社
社外取締役 (監査等委員)

ガバナンス



木内 登英

- 1987年4月 株式会社野村総合研究所 入社
- 2002年6月 同 経済研究部日本経済研究室長
- 2004年6月 野村証券株式会社 金融経済研究所
調査部次長 兼 日本経済調査課長
- 2007年6月 同 金融経済研究所経済調査部長
兼 チーフエコノミスト
- 2012年7月 日本銀行 政策委員会審議委員
- 2017年7月 株式会社野村総合研究所
エグゼクティブ・エコノミスト
- 2020年6月 当行 社外取締役

金融環境変化への対応

本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは
下記 I R 担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部（I R 担当）

Tel : 043-301-8459

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。